

議案第 4 号

2024年度 そよかせ事業計画

1.事業計画

- (1) 定員: 移行支援6人 継続B型14人は従来通り。
- (2) 利用者数: 一日当り 移行支援 4.5 人、継続B型 11 人(年間平均)を目標とする。また、定着支援の利用者数は 13~15 人を予定。
- (3) 訓練等給付金目標 上半期 280 万円/月、下半期 280 万円/月 年 33,60 万円
- (4) 工賃月額平均目標、B型 22,000 円、 移行 28,000 円
- (5) 目標就労者数(2024 年 10 月 1 日までに): 就労移行 2 人
- (6) 職員研修: 権利擁護、就労支援その他の実務研修などに参加できるよう勤務体系を配慮して参加を促し、職務能力の向上に努めます。
- (7) 増収計画: 職員の給与改善のための人件費負担増に備え、また工賃向上のためにもレストラン・カフェ事業の収益性向上と新規生産事業(外部就労を含め)の開拓を進めます。
- (8) 昨年始めた相談支援事業につきましては、引き続き今年度も更なる広がりを目指して活動をしてまいります。まずは数の上での伸びを更に求めてより多くの利用者を確保していきたいと考えます。

事業ごとの計画

・移行支援

各利用者のニーズに応え、通常の作業に加えて就労に必要な技能や履歴書の書き方、模擬面接などの実践的な訓練を実際の就労先の最新の情報を得て提供します。
また、職場体験、見学の機会を増やし、就労意欲が更に高まるように支援をしていきます。

・就労継続支援B型

就労移行に比べてそよかせの利用目的があまり前向きではない場合も多く、本人の希望を良く聞いた上で個別支援計画を立案して、日常生活の改善や体力、能力の回復、等の向上に努めます。また、レクリエーション、小さなイベント等も取り入れてそよかせで過ごす時間が楽しく充実したものになる様にも努めます。更に、お一人お一人のその日その時の心身のコンディションに悩み等があればお話を伺って助言、支援をしていきます。それらの結果として通所人数の増加を目指していきます。

・定着支援

従来通り就労者との対話を深め、かつ採用先の担当者との情報共有を活発化するように努めます。また、支援レポートを職場の上司と共有し、円滑な勤務の実現に努めます。更に、今年度初めて外部事業所から就労された方の定着支援を行いました。その広がりを更に求めていきたいと考えます。

・相談支援

昨年のスタートから1年、契約者数は75名を超える程になってきている現状ですが、必要とされている方はまだ多く存在するのが実際です。今後どれだけ多くの方々に十分な対応ができるか、その質と量の見極めをつけながらの一年となります。

・その他の業務

- メール便事業： 担当を希望する利用者が複数いても、配達する冊数が以前に比べて少なく、その数を増やしてもらえそうな実績をこの一年で挙げていきたい、と思います。
- 清掃事業： 清掃業務の技術向上を目指して行っています。
- 厨房、喫茶： 日々より良いものを提供できるように、また時代の求める食についても応える事ができるように業務全般を見直しながら進めていきます。
- 施設外作業： より一般就労に近い環境での作業に慣れることによって就労意欲向上や、体力作りを目指します。また新規の施設外就労先の開拓や既存提携先での業務拡大に努めます。
- 事務補助： パソコンの基礎、スキルの向上、また一般就労先の事務の仕事を意識しながら事務作業の習熟に努めていきます。
- 軽作業： 常に工賃効率の良い新規業務を開拓しつつ、現在連携ができている関係各社との信頼関係を大切にしながら工賃単価の向上を目指します。
- 給食サービス： 食事の提供は他の事業所との差別化にとって重要であり、経費を抑えつつより満足度の高い食事の提供を目指します。
- セミナー： 一般就労に必要な知識、自己理解、コミュニケーション能力の向上などを目標として行います。職員が講師となって、SSTの研修などを継続的に行うほか、外部講師による仕事に対する考え方等のテーマをとりあげる予定です。
- 相談支援： 面接を通じて利用者の目標を明確にし、日常生活の質の向上や就労の実現を目的とします。
- ミーティング及びグループワーク： 日常生活や就労を目指す上での悩みや、困りごとなどについて仲間で話し合い、解決していく力を身につけることを目指します。
- 外出訓練： 余暇の楽しみ方、息抜き、集団行動を身につける事を目的として年に1回、利用者、スタッフで行っています。実施時期、方法は前年度に続き今年度もほぼ同様な内容で計画を進めていきます。できれば10月～11月に実施したいと考えています。

以上